

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月16日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271401673		
法人名	株式会社 日新開発		
事業所名	グループホーム 庄司屋敷		
所在地	〒859-1401長崎県島原市有明町湯江甲1374番地 (電話) 0957-68-5757		
評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年12月5日	評価確定日	平成21年2月25日

## 【情報提供票より】(平成20年 11月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成	15年	9月	1日
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27	人
職員数	20 人	常勤 20 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 3.9 人		

### (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1階建ての	階 ~	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費300円/日・実費
敷金	有( 円)		無
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 600円		

### (4) 利用者の概要( 11月 1日現在)

利用者人数	26 名	男性	4 名	女性	22 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	12 名	要介護4	6 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82.5 歳	最低 77 歳	最高 95 歳		

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	柴田長庚堂・島原保養院・松本歯科医院・まき歯科・くすのきクリニック
---------	-----------------------------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム庄司屋敷は広大な敷地を利用して3ユニットが横並びに繋がっている建物であり、そのため各ユニット間の行き来も自由にできる。芝生が美しい庭では夏祭りなどの行事や外での食事などが楽しくできる。また有明海が一望できることも自慢の一つである。ほど良い広さの畑では入居者が野菜を作られており、収穫物をみんなで楽しみながら食事されている。また地域の方が紙芝居を披露して下さる機会があり、交流を持たれている。施設長を中心に全職員が3ユニットの入居者と顔見知りであるため、入居者が不意の外出をされてもカバーできている。幅広い世代からなる職員は、時には子のように、時には孫のように入居者と親密に接しており、何よりも明るく元気なことが印象的なホームである。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善計画シートを作成されているが、改善計画に対してどのように取り組まれ、どのような結果になったかのプロセスが判断しづらい。調査当日のヒヤリングで確認した点として、運営に関する家族への反映では、まず無記名アンケートを利用して意見を引出す工夫がなされ、次の家族会などで検討した内容の報告をされる予定である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価を各ユニットごとに取り組まれている。しかし自己評価の質問内容が把握されているようには見受けられなかった。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1度、運営推進会議を自治会長など、地域の方を交えて行われている。特に会議録はどのような意見交換が行われたかが分かりやすく、今後につながる記録がなされている。その中で自己評価や外部評価が議題として取り上げられている。また自治会への参加が検討され、地域とのつながりへの取り組みが見受けられた。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月たよりを発行されており、入居者の生活状況を伝えられている。また金銭管理についても領収書を渡され、金銭台帳を確認後、サインをいただいている。年に1度は家族会が開かれ、全体的な報告もなされている。家族の意見を引出す工夫としては意見箱の設置や面会時の声かけ、また無記名アンケートを用いて意見を尋ねられている。意見への対応の事例として、職員のエプロンに名前をつけられるなどの対応がなされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	自治会に参加することで地域の行事に出かけたり、入居者の状態に応じて地域活動に参加されている。また学生の福祉体験も行われており、地域と切れない関係を築かれている。季節の行事としてそめん流しを地域の方と共に楽しまれ、無理なくおつきあいされている。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で「安心と尊厳」をキーワードとして考えられており、入居者一人ひとりの思いに応えるべく、地域密着型として平成19年に改定され、積極的に地域へ溶け込むことを目指された理念となっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に理念を掲示してあり、出勤時には必ず確認することで取り組まれている。その取り組みとして自治会に入り、回覧板を回してもらうなどで努められている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に参加することで地域の行事に出かけたり、入居者の状態に応じて地域活動に参加されている。また学生の福祉体験の受け入れも行われており、地域と切れない関係を築かれている。季節の行事としてそうめん流しを地域の方と共に楽しまれ、無理なくおつきあいされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を各ユニット事で取り組まれている。しかし自己評価の質問内容が把握されているようには見受けられなかった。また改善計画シートを用意され改善に取り組もうと計画されているが、改善計画に対してどのように取り組まれ、どのような結果になったかが判断しづらい。		今後は自己評価でグループホームに求められていることの理解を深める取り組みをなされ、さらに改善計画シートでは目標に至るまでのプロセスをより鮮明にすることに期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を自治会長など、地域の方を交えて行われている。その中で特に会議録は、どのような意見交換が行われたかが分かり易く、今後につながる記録がなされている。		

グループホーム 庄司屋敷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福祉祭りの際にイスを借りられたり、時には敬老会に参加していただくなど、できる限り市町村担当者と連携を図るように取り組まれている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月たよりを発行されており、入居者の生活状況を伝えられている。また金銭管理に関しても領収書を渡され、金銭台帳を確認後、サインをいただいている。年に1度は家族会が開かれ、全体的な報告もなされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見を引き出す工夫としては意見箱の設置や面会時の声かけ、また無記名アンケートを用いて意見を尋ねられている。意見への対応の事例として、職員の名前が分からないという意見に対してはエプロンに名前を付けるなどの対応がなされている。		家族からの意見に対して、ホームとしてどのように検討し対策がなされたかという、意見に対する対応のプロセスを明示した回答を全家族へ漏れなく報告する取り組みが望まれる。家族との信頼関係構築とホームのサービスの質の向上のために、意見、要望に対する誠意ある取り組みに期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職の際は入居者に紹介や説明をされ、馴染みの関係になるまでベテラン職員と共に行動するなど、チームケアを用いて入居者のダメージを防ぐ取り組みがなされている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設長や管理者はスキルアップに繋がる研修情報を職員に積極的に案内されている。またホームから研修に行ってもらう時は復命書を用意されている。その時には必ず報告書を書いてもらい、職員はいつでもその研修内容を知ることができるように工夫されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のケア研究会に所属され、様々な疑問があれば気軽に相談できる関係を築かれている。また車椅子を借りに来られた事もあるなど、友好関係が築かれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>当ホームに見学に来ていただくことなどで、入居予定の方の心情を考慮し、無理なくホームへ来ていただくように工夫されている。また家族から生活歴を尋ねられることで、その方が早くホームに馴染まれるように取り組まれている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑の作物の種付けや裁縫、調理や五右衛門風呂の入り方などを人生の先輩である入居者に楽しく教えていただくことで、共に支え合う関係を築かれている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者の意向を知るべく、入居者の日々の出来事を日誌に書かれている。そして一人ひとりに聞き取りをすることで希望を聴き、困難な方には家族と相談されている。また日誌に介護計画の取り組みを記入する箇所があり、介護計画を意識した記録を心がけられている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は入居者本人と家族の意見を伺いながら作成されている。また入居者一人ひとりに担当職員があり、生活の中から見出した気づきを介護計画書に盛り込まれており、取り組みやすい計画書となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間は明確に記載されており、期日を意識した取り組みがなされている。またバイタルなどの状況に応じて見直しを検討されている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助や外食、時には入居者の家族へ宿泊支援もしているので寝具などの用意がある。また看護師に毎週各ユニットごとに来てもらうので、毎回入居者の健康状態の相談ができるなどの支援がなされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者一人ひとりのかかりつけ医の関係を大切にされ、入居者の個々のバイタルや受診記録を用いながら取り組まれている。毎週協力医が各ユニットに来られることで、安心できる生活を支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針や同意書は用意され、入居者や家族の意志を確認されている。また医師との相談を綿密に行いながら、過去に看取りの経験がある施設長を中心として取り組まれている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報などは事務所に保管されている。また服薬管理手順も用意されている。排泄チェック表を利用することで、個々の入居者の排泄のタイミングを把握し、さり気なく誘導されている。声かけは十分に配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の起床などは個々の生活ペースに合わせている。行きつけの美容室を継続して利用いただくなど、一人ひとりが本当に望んでいる暮らしの支援を心がけられている。		

グループホーム 庄司屋敷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は職員も共に摂っており会話しながらの楽しい食事風景であった。またとろみ食など、食べやすいように工夫されている。調理やテーブル拭きなども入居者ができる範囲で手伝われ、生き生きとしておられた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者が希望されれば毎日の入浴が可能である。浴室にはクーラーが設置されており、脱衣しやすいように配慮されている。入浴されない時は、清拭を行い清潔保持の為に支援がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者同士が互いに助け合いながら和やかに共同生活されている。畑仕事をされていた方は、ホームの畑で野菜を作り、収穫してみんなで楽しんでいる。また女性の方は裁縫が得意で、雑巾縫いなど存分に力を発揮されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気に応じて外気浴を楽しまれ、家事の手伝い、散歩などで日常的に戸外に出られている。外食や地域の行事参加もなされている。また『生まれ育った地域へ帰りたい』と言われる入居者へは、通院支援の折に本人の自宅や地元周辺までドライブして安心間と納得を得ていただく支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間は鍵を掛けることがないため、入居者は自由に入出できる。また入り口にはチャイムが取り付けられ、各ユニットで見守りを連携されたりと、安全に生活できるよう支援されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災に対する訓練は徹底されており、パッケージ型消火器が各ユニットに用意されている。また地域の方も訓練に参加いただき、いざという時には協力していただけるように働きかけている。地震が起きたときを想定しての避難訓練を行い避難誘導の困難さを経験し今後の訓練を始め、対策に活かしていきたいとしている。		避難後の復興に向けてのライフラインの確保を検討されることが望まれる。特に様々な災害に対応できるように状況に応じたマニュアルの整備や備蓄を考えられることに期待したい。

グループホーム 庄司屋敷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	当ホームの事業グループに所属されている栄養士の方に献立を見ていただき、栄養バランスなどを考えられ、入居者の健康を確保されている。水分も1リットル以上の摂取を考えられており、脱水症状にならないよう注意を払われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物や楽しそうな行事の写真が飾られて温かな雰囲気であり、室内もほどよく明るく温度計も用意され、過ごしやすい工夫がされている。また庭には芝生が植えられてあり、テーブルとイスが用意され、天気の良い日には山や海を眺めながら気持ちよく過ごせる工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋にトイレと洗面台が用意されている。入居者が籐のイスやテレビなどを持ち込まれており、中には入居者本人のお気に入りの電気カーペットを持ち込まれ、その上に布団を敷いて寝る事で安眠されている方もおられる。		